

公文和子先生をお迎えして



ケニアで障がい児支援施設『シロアムの園』を創設した公文和子先生をお迎えして、ケニアでの医療活動、支援施設の子どもたちへの思いなどを語っていただきます。

「シロアム(遣わされた者)の園」の名前は、イエスが盲人を癒やした池の名前に由来しています。

日時 2025年10月21日(火)午後2時～4時

会場 北星学園女子中学高等学校 同窓会室

(札幌市中央区南4条西17丁目2-2) (Tel 011-562-0487)

(地下鉄東西線 西18丁目駅下車 徒歩10分)

(駐車場が限られておりますので、公共交通機関をご利用ください)

※参加無料

公文和子 先生(56歳)

小児科医 和歌山県生まれ東京育ち 北海道大学医学部卒業(元札幌北一条教会 教会員)
北海道各地の病院で勤務後、イギリスで熱帯小児医学を学び、世界各地で医療活動が続けた。東ティモール、シエラレオネ、カンボジアなどの紛争地でも診療を行い、2002年からケニアで本格的に活動。2015年、ケニアに障がい児支援施設「シロアムの園」を創設。今年10年目を迎える。



☆裏面もご覧ください

シロアムの園の活動について

障がい児のいる家庭でも、希望を持って生きられる社会を目指して

☆医療支援 医師が子どもたちの診療を行い、病気や障がいに対する適切な治療を提供しています。ワクチン接種や栄養管理の指導も行い、子どもたちの健康を守っています。



☆リハビリテーション 障がいのある子どもたちが自分で歩いたり、話したりできるようになるための訓練を行っています。理学療法士が一人ひとりの状態に合わせてプログラムを作り、運動機能の回復をサポートします。

☆教育支援 障がいがある理由で学校に通えない子どもたちが、学習の機会を提供しています。特別支援教育を受けられるようにし、読み書きや計算だけでなく、社会生活の基本も学べるようにしています。

☆生活支援 親が子どものケアを適切にできるよう、食事や入浴、トイレ介助などの方法を指導しています。また、障がい児を育てる親同士の交流の場を作り、悩みを共有し合える環境を整えています。

☆就労支援 障がい児を持つ親が仕事を得られるよう、古着の販売やドーナツ製造などの小規模ビジネスを支援しています。これにより、親が経済的に自立し、家庭の状況が改善されることを目指しています。

弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。

(ヨハネによる福音書 9章2～3節)

※参考 「NPO 法人 シロアムの友の会 HP」より抜粋です。